

だいじだね!身近な地域の支え合い

支え合います!

わたしたちにしかできない助け合い・支え合い活動

12月11日(月)にハーモニーみどりで、「助け合い・支え合いGood Job!交流会」が開かれました。

参加者は連合地区エリアで地区ボランティアセンターを行っている方、自治会エリアでご近所の助け合いの仕組みを作って運営している方、またそういった活動をこれから始めようとしている方など様々で、依頼する人と活動する人の「調整役」の皆さんやボランティアさん、9団体18名が集まり、活発な意見交換が行われました。

お隣さんのちょっと困った場面に声かけがしにくくなって

いる昨今、こういった「調整役」の方は貴重な存在です。

今後も、「制度・サービス」の隙間の“ちょっと困った”を解決してくれるご近所同士の助け合い・支え合いの活動はますます重要になってくると思います。

こうした仕組みづくりがたくさんできるよう緑区社会福祉協議会や地域ケアプラザは応援していきます。

助け合い・支え合いの活動を考えている自治会、団体がございましたら気軽にご相談ください。

What is 地区ボランティアセンター?

横浜市と18区にはそれぞれ社協職員が配属されたボランティアセンターがあります。

しかし、細かい地域の困りごとにはなかなか届かず、調整しきれません。そこで、地域住民自身が相談窓口になり、地域の困りごとを地域で解決しようとしてスタートしたのが、地区ボランティアセンターです。

具体的には「庭の草むしり」「ゴミだし」「話し相手」「買い物代行」「通学支援」など制度でなかなか対応できない方への支援を行っています。

緑区では東本郷地区で平成12年から始まり、霧ヶ丘地区、竹山地区そして平成28年には十日市場団地地区で開設しています。地区ボランティアセンターの詳細については区社協までお問い合わせください。

地域の大家勢の人が活動してくれるのは嬉しい

ボランティアはきりがなく、ルール作りが必要

ゴミ捨ての応援に行くと、実は話し相手か欲しいという人もいたりする

ボランティア派遣するとありがたいと何度も電話してくれるのでやりかゝがある

有償も考えている



つどいます!

福祉カフェ「るるる*オアシス」

十日市場駅から徒歩で5分ほどのところにある、福祉クラブ生協の「るるる*みどり館」。ここで、平成29年9月から「るるる*オアシス」という福祉カフェが開催されています。「福祉カフェ」というと何かしら相談がないと行けないようなイメージもありますが、そんなことはまったくなく、どんな方でも気軽にきて、おしゃべりを楽しむ場になっています。



カフェではボランティアさんが入れてくれる飲み物(コーヒー、紅茶、ミルクティー)がとても本格的!丁寧に用意していただいたお茶を口にすると、気持ちもほっとし、初めて会った方同士もお話が弾みます。

はじまったばかりのカフェですが、口コミなどで広がり、少しずつ参加者が増えています。みなさんも、ふらっと立ち寄ってみてはいかがでしょうか? エリアも年齢も関係ありません。介護者の方もどうぞ。立ち寄っていただけるのをお待ちしております♪

この看板が目印



場所: 緑区十日市場町840-3 るるる*みどり館内
開催日: 毎月第4日曜日 13:30~15:30
飲み物代: 100円(2杯目からは50円)
問合せ先: るるる*みどり館 511-8631

発見します!

北八朔自治会の住民支え合いマップ

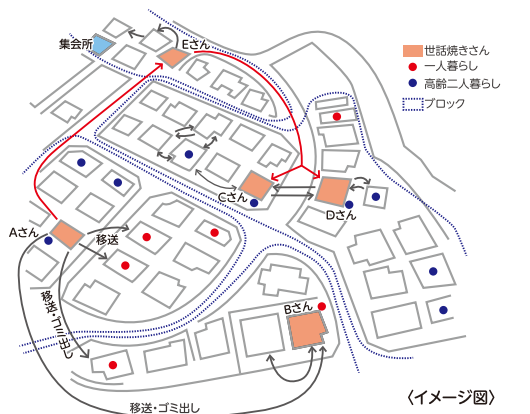
北八朔自治会で行われた「住民支え合いマップ」。およそ50世帯エリアで自治会の役職でも民生委員でもないお隣さん、世話焼きさんにも集まっただき、近所でちょっと気になる方、心配な方を地図に落とし込み、住民同士の関係や動きなどを線でつなぎ、情報を共有する取り組みです。

当日は、地域の人と区社協職員で、「Aさん、Bさん、Cさんは子ども同士が同級生で、子どもたちが卒業した後も付き合いが続いていますよ」

「Dさんのご主人は施設に入所して、今はDさん一人で暮らしているみたい。隣のEさんとおしゃべりしているのを見かけます」

こんな情報を集めマップに落とし込み、ちょっと気になる、心配な方がどこでどう見守られているか発見できました。

また、すでに住民支え合いマップが行われた地域では、マップ作りで出てきた課題をきっかけに、見守りにつながるサロンづくり、声掛け活動もスタートしました。皆様のご近所で「住民支え合いマップ」に取り組んでみたいと考えている地域がございましたらぜひ、ご相談ください。



(イメージ図)